

経営比較分析表（令和3年度決算）

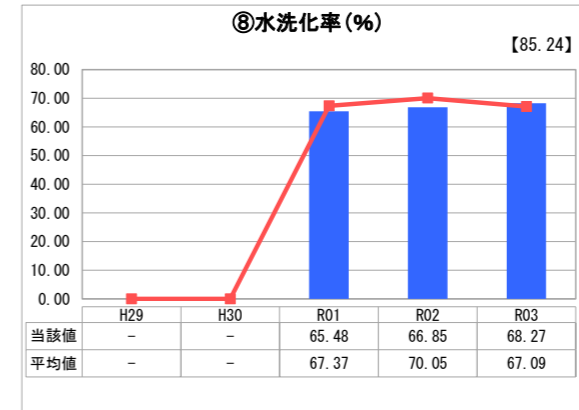
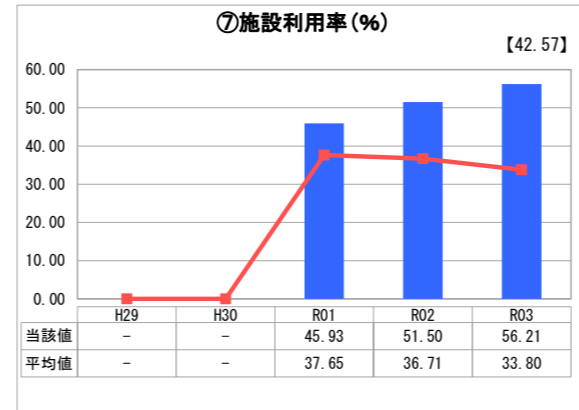
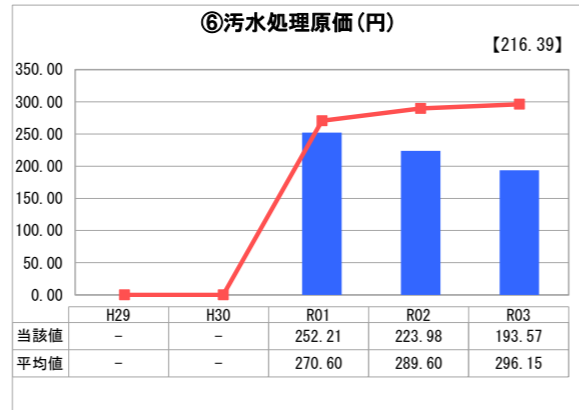
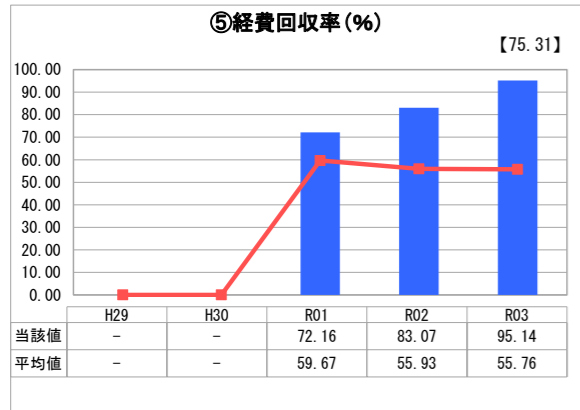
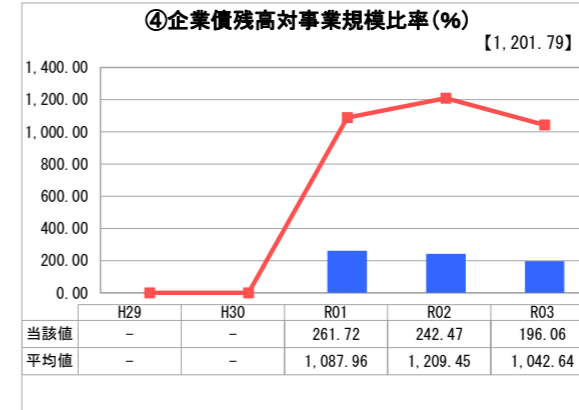
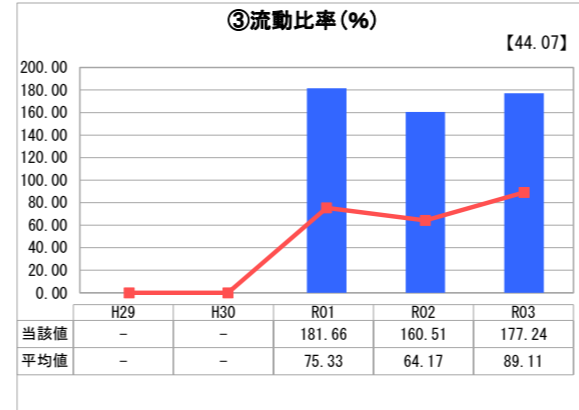
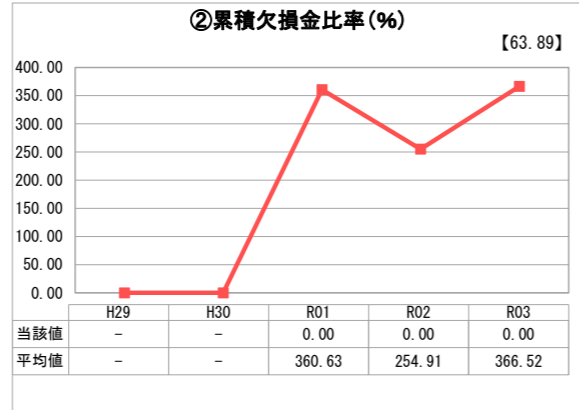
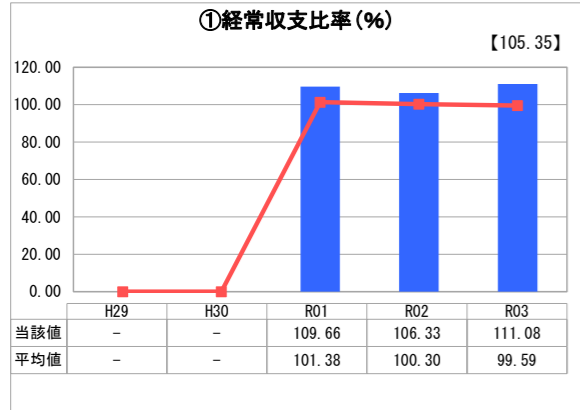
佐賀県 白石町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	49.67	21.92	82.58	3,740

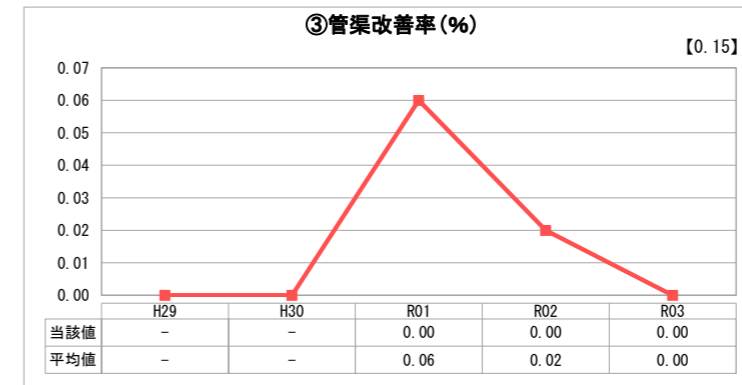
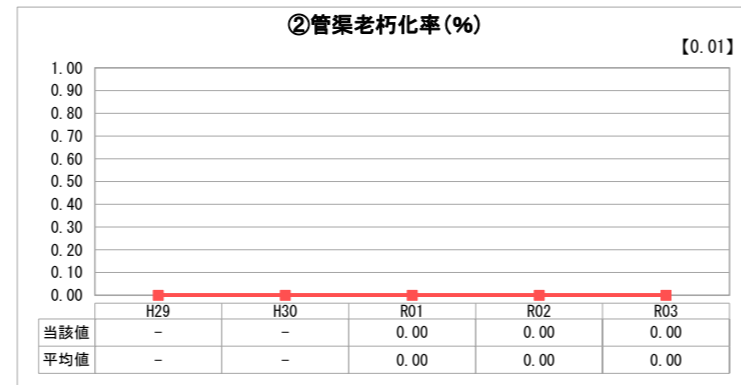
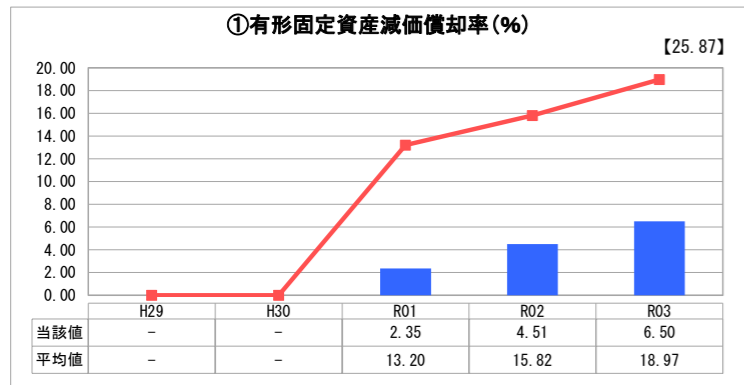
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
22,130	99.56	222.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
4,813	1.35	3,565.19

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
【	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、100%を超えているが一般会計からの負担金収入が大きいためである。総費用が前年比+6,566千円の増加に対し、総収益が+18,530千円となったため経常収支比率は、4.75%高くなった。

流動比率は、100%を超えている。未払金の減少により、流動比率は前年度比+16.73%となった。企業債残高対事業規模比率が低いのは、一般会計からの負担金があるためである。

経費回収率は、汚水処理費が前年並みだったのに対し、使用料収入が増加(前年度+6,400千円)したことで、+12.07%となった。しかし、100%には達していない。

汚水処理原価は、汚水処理費が前年並みだったのに対し、年間有収水量が増加したため、前年度比△30.41円となった。

施設利用率は、晴天時一日平均処理水量が増加したことで前年度比+4.71%向上した。

水洗化率は、下水道接続世帯増加により、前年度比+1.42%となった。

2. 老朽化の状況について

令和元年度から地方公営企業法の一部適用をしているため、減価償却累計額が少額で、減価償却率も低くなっている。

平成25年に供用開始しているため、老朽化率は0%である。

処理施設やマンホールポンプについて、定期的な点検、計画的な修繕をおこない、財政負担の平準化を図る。

全体総括

人口減少や動力費の高騰など下水道事業を取りまく環境は厳しい。接続率向上による使用料収入の増加を図るほか、料金改定を検討している。また、計画的な施設等の修繕、更新、経費の削減により安定した事業運営に努めていく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。